

### 【 I . 3. 11 事故の反省・教訓を風化させない働きかけ、安全文化醸成に資する活動 】

#### 1. 原子力放射線部門の技術士として、安全文化と技術者倫理を学び直す取り組み

##### 【実施内容】

まずは安全文化に関する我々自身の理解促進から始める。その結果を外部に発信するとともに、所属組織、原子力界全体へと展開するための準備活動を行う。

##### 【実施計画】

- ① JANSI の安全文化に関する活動内容の紹介をきっかけとして、基本安全原則(IAEA)、日本原子力学会倫理規程、技術士法/会関連(法:3義務2責務、会:倫理要綱、プロフェッション宣言、部会提言等(活用以外))を再整理して部会員に講義形式で解説し底上げを図る。
- ② 「主に個人の意識(倫理観)の部分に働きかけ、組織全体の安全文化醸成に寄与する」の観点から、「原子力の自主的・継続的な安全性向上に向けた提言」(総合エネルギー調査会)等をテキストとして原子力・放射線部門 技術士の具体的言動の在り方について議論し、取りまとめる。
- ③ 「組織の垣根を越えた自由な議論を通じて原子力界全体の安全文化醸成を目指す」の観点から、①、②の成果および「原子力安全文化の在り方とその運用」(日本保全学会)等を基に講師や学協会(※)との意見交換会を実施する。(意見交換会は講師講演と議論は半々の構成を目指す)  
※:JANSI技術士会、日本保全学会、電事連安全文化ステアリングチーム等

##### 【実施主体メンバー】

- ◆ 部会員の底上げのための講師(資料準備)、意見交換会を含めた計画検討  
.....(企画担当者:伊藤晴、桑江) JANSI 技術士会員、他 4~5 体制

##### 【スケジュール】

- H26/10 : 概要計画面(本紙)の修正、部会員への公表
- H26/11 : 基本計画の PT による検討と役員会提議(詳細計画は ML にて)
- H26/12 : HP に専用頁を開設、本取り組みの趣旨等の説明、HP,ML による詳細計画公表、技術士のタベ(H27/1)に向けた自習用資料等の編纂と配布
- H27/ 1 : JANSI の安全文化担当講師を招いた講演(約 1H)と勉強会形式の技術士のタベ
- H28/4 以降 : 部会意見を踏まえた意見交換会(H27 年度中 1 回目標)

##### 【外部への発表】(上 3 つは取組前だが)

- ・ 技術者倫理研究会(日本技術士会)で講演「原子力・放射線部門技術士として部会および個人の活動を振り返る」(既:H26/7/29) 桑江部会長
- ・ 電事連安全文化ステアリングチーム会合にて原子力・放射線部会の活動説明(H26/9/12) 桑江部会長
- ・ 電気学会倫理委員会 特別企画での講演 (H26/12 予定) 桑江部会長
- ・ 月刊技術士 安全・安心コーナー執筆 (H27/3 予定) 佐々木
- ・ 取り組みを踏まえた月刊技術士等での意見発信 (H27 夏及び H28 年度) 別途選定